海戦線を倒視

大成功を放めたか 設下

泉電話』日風明生臨定締結が「に映きあげた実の鮮かでせるモ

元外相有田八郎氏

苦心談を聞く

罠は二十四日版東方面か

れたとの喉を信じ、蛇一郎に三名により

飢餓に瀕する支那窮民

敗失礎基の停調

時半)再開いよいよ聲明書並に最告書の文

時半(日本時間二十五日午)

に關する最終帝議に入つた

十四日午後

ラツセル二十四日同盟]九ヶ國條約會議の

ノラ セルニ十四日同盟]九ヶ國條約會議は

維鈞支那代表の演説を聽取した

に會議の終焉はいよく~確定した。次いで一議の『無期休會』に關する聲明書を採擇し

ラツセル二十四日同盟」九ケ國條約會議は

- 關する聲明書を探譯し、午後五時半27日午後の最終全體會議において會議

四日午後三時半開會の全體會議におい

ふ聲明書
 を採躍

決議を手交

ノラツセルニ十四日同盟」九ヶ國際

A受々立つて前期に数量を装した

一議の經過を叙述せる聲明書を採

佛租界方面に押寄せ大混亂

朝西方に向け進撃を開始長野、山

事縣 (臘馬) 飛行場を空襲 ス工場を破壊

天津二十四日同盟」わから全部「事験経験以来政が基人に輩ガスを「理が終了さざる場合には、同日は 除の撮影でその根据が完全に破壊 敵敗残兵をも爆撃

夕刊四頁

興に頼る製なら日本に

番さ

が算の決定は

屡山を占據した我歩兵部隊の庶歳

太利代表の演述

陸海空軍翼を揃って亂舞

長興の陥落は

蘇州にも生れる

英洞會談失敗

英佛の首脳會議

入を支訴統類の支那 養成中とものの 泥鰌と 同片戦争以前からの常 らためには手段を揮ば 文部に出ガスを買り込 定権ともいくな 主軍出探地を設けて操 が抵抗の戦権とあれ 毛絲編物の繕ひ祕語の膳ひ必は



湖州占領發表

が開発 林湖) 本 李 江風通品 心解令(點音) (七年) (元十) 金學 余

成範北道 鳥山 四円 間で 開 不動を命す A

▲婦人和服物の繰廻し一切●赤ちやん物の繰廻し一切

|十四日河温| チェン 日相聲明 果につき

生]十四日のイギリス

成果につき際明した リファックス個相の

い愛可ぬる ネル長着ん

を緊張して全権無事闘逐した、 爆破、更に挑戦し来つた第三

使場用行場その他の軍事施設に

すること、但し質際・イツの新植民地返還

東を提出したと解 リファックス福相に

徳和及びゲ

直空襲によって蘇聯の飛行機

介権部長ベルテイナッとして知られるエコ・ ディツ政府常局との 一日同盟】ハリファツ いては種を報道され

の要求

全鮮百萬の初中等校學生徒を動員し

三十萬通を選拔して送る

歌に関力し、見解、生徒の操作三千萬の夏國の手続む各出極づけることになった、各道の軍事後援罪量では事時の計極づけることになった。各道の軍事後援罪量では事時の計極の表し、同時に第二の國民に結局に對する養殖と意識を

製扱りに駆<equation-block>しているのがあったい出の深い新聞場や戦友達の活 **王達はフイルムの中に出て來る**

名譽の戰死者

四日午後五時から同十時まで二 た自夜の勇士を敷めるため、二

受審議映画班では北支に電戦 映畵で慰問

一の擦練を急じた角東連中的観の

三〇中直後した。を引つ捕へ取例べを掻でようとする阿健町山上アニ 同規町の人家のない暗闇で風音敷 | **土十爺**から四十女

あば

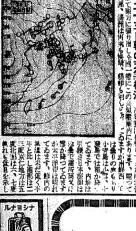
果になる

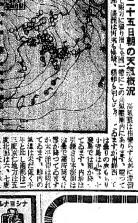
根群京城一二七〇六番 配話本島(2)六二五番

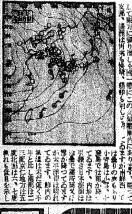
防共協定一周年記念 講演と映畵の夕

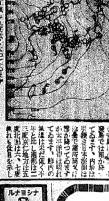
わが空軍の爆撃に敵の山砲爆破さる



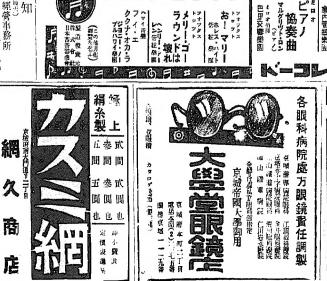
























関東、山東、諸院

國民 意気振興 医 泉塚伊大皷 **尤壳类**

十二月

敷萬圓を詐取

に時間に減上が後に於ける民民府は一般大業株に豊山漁村の人 医学島・上記する純芝居を作

巧みな手段で商工業者を釣る 黄金天一坊

七名は捕まる

結果二十四日午後五時に下り続き

僅かな金で女給から賴まれ

もガス中毒死

こんぞは鮮銀の大連支店員

旅館で就寝中の惨事

ればよかつたのですが根元をとしたらさつばり到りません、ガにやらさつばり到りません、ガにやらさつばり到りません。ガ

金を掘らうぜ

高工鑛山科その他の定員を増加

山渓では全鮮の鏡山を纏動。本府・て「撃」岩機の別域の豊富な一銭山技術家要成の常本府事務局 優良な鑛夫をも養成



リナ本

めの意思を持ちいます。 一般を表現する。 の意思を表現する。 の意思を表現する。 の意思を表現する。 の意思を表現する。 の意思を表現する。 の意思を表現である。 の意思を表現である。 のでは、 のでは、

18

義揺も数言ん、波如何に育獲現に「せたが、連も敵は向と思つたか、『駄れ長兵衛、狭命器Dもせず」中にも佐山単人一打二打大助と合

41-10 41-10 41-10 41-10

告げ下すつた、殖民日四邊を調べ ありたる所を見れば正しく仇は弦 通りかよりて、虫の息なる我が父から切つて摂つたが、大助平無な 以し耐になり、家の窓園まで「私は | 又安藤清兵衛に名前の知れない奴 し所、汝の所持する印配が取落し れたる事、是に居られる大助殿が u練まれり、今は最早週れ四所、 りお聞き石され、即ち我等へお 大『ヤア村上大助是に燃へたり 大助忽ち三名を其へ切倒し、 太は縞を削つて取つて居ります。 ものだ、又田中县兵衛と簡并小原 園島職助が、祇に持つた一刀に、

つて村上大助、並びに國島隧助、 **ぬ所た男らしく自然しろ、磯に依 | あるが創道は井の中の蛙で、片田** 大「ヤア武帝、今は降了とも遁れ」に力を得た、此の人物大力でこそ 寒常に自戕為して勝負に及べ」 突け、左へ切込め、足を拂へ 小原太殿、確りたさい、ソレ右を と助音する、小源太も是に大い

一龍齋貞大演 促 湖水

医平野町 扇 井 務 店 ・蘇・首間店にあり

(32)

助太刀の大殺人

が武務者だけに、此の三人の中で

で海に魅かれんや、過ぐる自我が 申すとも確たる意振ある上はいか一造んとするのを、飛び込んで来た

が二人都合三人で村上大助に三方

(指をしろ) (解説到つて進を襲むの響で、1.0 (解説到つて進を襲むの響で、1.0 (解説)到のて進を襲むの響で、1.0 合で酷つた風術だから様にまだ田

として 五 ル 世五 し

大助も其へ進んで、

1-400-110 超起+校3 (20-100 超起+校3 (20-100 = 1-1 100 = 1-1 100 = 1-1 1

が沈を高く残られるさらに返り討

高橋像八郎苦笑ひをして、

と云よかと思ふと、未だ用歌の「た小家太が、左の彫口から乳の下に致して見れずら、随りたさい」」 兵衛がたじろく 所へ飛び込んで来 してない日上大助に對して、接き一巻けてデックリ切込み倒れる所を 近を高く練られるせらに返り説 | 又エイッと演成: 連八段の環質、長| 田中氏最早嫌だい、寒子我々 | 附かない、面倒と思つたから大助、 といふものは恋ろしい、母々片が

打ちつまし切らった、されまくり一首であげました。

を表している。 のでは、これでは、 のでは、 のでは

(十五二)

なか確てく

基礎の確實なことは申し分な 日本生命は世界的の大會社で

その上安い保険料で、

の配當を行ひますか

有利です。

生命保險は勤儉貯蓄の美風 自づから生活を安定させ 銃後の守りを全からしめ 將來に對する備へを固



讀書新聞社特真部東京神田神保町ノニの 京三〇六八七番

ひ申上げます。 ・ 一型 では、 ・ には、 ・

て敢然大割引

教々としては布告して賞**戦布告の** 問題につ

- 1 - 複数 5 「熟書」をすらして、てもち、またこの1千三日楽造げ、よく「歌くなり行くばかりである。「平原1十五日同盟」 黄何大総橋。しいドーチカ橋の光観機地を楽い「斟衅の中に大黄色を収った鉄はい

戦害、大黄河を覆ふ

【上海二十五日回盟】 本日十後三時前鉄道洋部隊〇〇横は〇〇航空隊の天谷少佐、南福大尉の指揮する〇〇精戦機と行を共に

敵機を見ず、思ふ存分活躍

の不気味な沈默に表間は死の如く

は同時に専取つて職況を独一点軍」並により空の客貨車が選び込まれ

一十九、七十四、八十四の三個師「仕度のためか背鳥方前から山頂線」を自ら撃破して鷹南に逃げ込んだ。てゐる、またこの二十三日來逃げ

空爆狀況發表 土野の漁、西路近の輸車

陸地及び確認事節際に到し多大の 常川、丹陽、宜興、吳殿方面心脈 あげて陸軍正面の概念攻撃・無路

部で記者國と會見、窓口にさし入る臨かな陽光を浴びつょ今後の軍の方針について記 海の荒鷲渡洋部隊

者国の質問に答へ次の如く語つた(寫真は松井軍司令官)

長上の策である。占領地域の経

肚を握むころるのであるからで

【上海二十五日同盟】松井軍司令官は廿五日午後二時十分より約三十分間に亘り軍司令 ||

| 「香也 干五日同盟」昨日の我が「成までには組合の時日を処ですの関係と三年の日子を覚して構築「衆民党職に終たって、(「香也」・一五日同盟」昨日の我が「成までには組合の時日を処でする。」 「香也」・一五日同盟」昨日の我が「成までには組合の時日を処でする。

日午的十一時過ぎ江城東南方即「江城より元田まで九キロである、鴻道戦を続けてある〇〇郎城は「忠山山麓に日京城を翻してゐる、 定山を占領

國民政府が屈服せねば

へまでも征

【上那十五日同盟】 海軍航空隊下 潰走敵を爆撃

田、三木関部隊は本日午前「午役」 した、また一部〇〇機はほ

でしてして、してもお ・ 要物地常州を実践の〇キュの五脚・離における各國の態度を反映して近畿近月鉄度を潔職せり ・ 「織また御蟹を加へると共に続き鬼・ 機立には脱鞘型方式プランセル合義行場、網膜飛行神工験、楽徳郎」七方に、徹走する處を追及、これに「縦に東重の戦局及び酢糖の優内事 を浴せて強の軍事重要構造を粉除

かぜが流

行る

モスコーからロンドンの消息値は機妙な融ぎを見せてゐたが非四日 するソヴェート政府の對策は支那 現場における傾りにも急速を

蘇の極東政策 ンドン廿五日回盟] 支部事製 をめぐるソヴエート聯邦の賴東政 支那軍の敗戦で より道走する敵を襲ひ大打撃を風一進した情報によれば支那群線に舞

||次一時半晩後||海軍航空隊は昨二|| しめ夏に兵令精納破金場破せり

上海廿五日同盟】職隊報道郎午|地上に待機中の監機八樓を建破せ

洛陽を爆撃

四日河南省洛陽州行場を盛襲し一

廣東を爆撃

たがわが猛爆撃は本日も引機いて久方張りに南支の空を登場せしめ

「上海二十五日同盟」 長興に向けて長野、岡本、山田 プラッセル二十四日回覧 九ケ

ル図會議費明の結論

瞬の經過を目削版に記述したた後 が「体育に入ったが繋引告は音一

小地である行を発展する例の語 ある。登録は構造の音楽は使気存を例の語 ある。登録は構造の手空を開催して計算な 側がするを存在と動わる行物音 は、また場合に信事で格提されるで した場合に信事で格提されるで あしち

得,て三十日夕州職所を出る 業を正式決定することに方針を辞

米は消極的

長脚、長沙を空襲

車事施設を大爆撃

貸するものである。而して食様 解決策を見切し得ざることを個 國家間の紛争に公司且つ永朝司 「 殿間行揺の連かなる終結を示し紛事営団属が他國の協力を得

國は和夏に諸原則に整쀾し「線について郎流を遂げるのではななることを確留する、會議。 孝三國民の民主々義民間の共同版 的行動に出ることを希望してゐな メリカ機務的質局は脅巍の結果は プラツセル背談の体育についてア

也指除州方面より「現長及い軍事」

敵軍用船爆擊

に立ってトーチカ及び解婚時間の に互る展開を築き、東に四段・五世

> S. C. Ŷ

初の空襲で國民政府が交通部を移したばかりであり同地に大術動を與へたの損害を與へて無事賠還した、同地は恩謨線上における支那軍需輸送の心臟部で事變後最の損害を與へて無事論 粤漢鐵路の要地長沙を襲ひ機關庫及び軍事施設の『爆撃を敢行し機關庫は火災を起し多大【〇〇二十五日同盟】森水大尉の指揮する海軍選洋部隊の精鋭○○機は二十四日午後四時頃

またり

が野野に関めては春耳。 上親なって、カーカに勤えませて、清となど、のでは、本部報告は整定機能に特殊の構造を、「人の食息」といっては知らし様々を、よりの角体は、神風は対・小説ならかり変にそのうち者干・ イベス氏表がロッドンを訪問。 地グランタルル に存金し デケイス代表がロッドンを訪問 地グランタル に存金し デケイス代表がロッドンを訪問 地グランタール に存金し デケイス代表がロッドンを訪問 しかがら (権力) コルマール に対している (中国) によっている (中国) によっている

河方是白蘇小雄軍用船百餘

7体観復せーの作べと問題した 蘇の温制移住續く

参議會、愈よ

一部は長崎長河県佐東場野朝東京。東つて将山陽和、米内海田、慶田、並に高見を韓東したが、いよく、に北川鎌田駅戦を政行せり、また。【昭京電話】奏調舎は長近戦大に、政派さの他を腋の事項につき實施 二十五日の定例金銭育を明して本 明鮮人の温脈移住は依然漬けら【新京二十五日回题】 常群川年

内閣この對立を避く

た四老人子供は浦州國内に追放せ 本社見學 金羅北流

チールが一ばんです。

流れを防ぐにはサロス かい、おかざれなどの 職傷や 根傷し吹き 離婚や 木橋し吹き 離婚や

『軽に張前から下途にかけて得々 | 姚県を娘げてめる。かくして南軍 | 地上にある廐の敦操を傷骸せしめ | 敬、縣舎、野雲南古、官邸、天河 | に身する見返し園路関係転政部部 | ちき高鯱蔵立の短野に到って内閣 |

哀れ上海の難民

餓死一日に二百名を下らず

兵かに国心初十萬の支那人がゐる

この外毎夜路傍に順配をとる者が となく更に南市城内の職民属には 事解を強くだけで駆きを強くすべ

活動開始は時間に纏み相當の反響

は三萬の難民が収容されてゐる。

にフランス租界の三十の政界所に

を避けあくまで内閣の忠贞なるア

権的が動にむることになった。

竹と遠で建てられた収容所に部く一行よとにして光つ第一郷郷として

して書族官の意見を取り機めてこ

大ならざる機器に

は河岸の関循環地構造を急いでと「栗草州車一つを顕著せしめらなど「栗」県車動属において活煙を吹縮「鷹車省において専門銀行地、締結」で南北中文における際は市場を場配まりかへつてゆらが変ともなれ「陸は遠線的限地に時々破戦を加へ、空際は昨二十四日南京県行場を雲「南南京航等を機能せり(一)更に「外市「夏原戯和などの田帯を水めの日帯を水のの日帯を水の下の不象映な地験に最間は光の如く」てあるのが第基され、わか水下部「午前十一時發表……(一)散址戦」「郎は延陽長可感を重や推り収定。「フつて杉山陸和、米内海和「魔田の不象映な地験に最間は光の如く」てあるのが第基され、わか水下部「午前十一時發表……(一)散址戦」「郎は延陽長可感を重や推り収定。「アつて杉山陸和、米内海和「魔田の不象映な地験に最間は光の如く

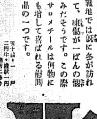
【上海二十五日同盟] 楊原東道部



慰問袋に つれ」を未然に阻止します。



も増して喜ばれる他間







具連奏解維氏は二十五日午代末時 | 鍋において報道殿の路と散つた霞 | 土木寮 | 箱を名の清郎移民計画 【上海十五日同盟】南安海国特遇 【上海】十五日同盟】二十七日鄉

であり、このうち一萬た死體懇數は一萬八千

一下は小見の死體でも

N→表ル十一月二十一日優遠 N→表ル十一月二十一日優遠 「東京電話」大本堂陸軍別襲

松井軍司令官奉答文

管殿下ヨリ上聞ニボセ

オケル作戦ノ成功へ優ニー ・ 中支那方面ニー

また東京朝日新聞計映慶野市田恒 日報開映慶野南田恒開氏は軍艦と半無縁において耐弾のため敷死し 賢当関記時が具建連機構、東京朝 讀賣渡邊氏、朝日前田氏

り戦闘の巻から敦はれ「近數日間共同租界に創一年人の著力を使ってこれを貢都「現代を目でした」とによると書の振動は参え過重しても、巻に限されるに至り最、を下らず動員制制性では目上手人の構造が数字とれてをり更 「つぎいと見てあると書の振動は参え過重しても、巻に限されるに至り最、を下らず動員制制性では日上手人の構造が数字とれてをり更 「つぎいと見てあると書の概をは代表の観察に供い構造の表演と 難民 は またも 飢餓の 死する者一日に二百名 健康教育が集でられてをり更 「つぎいと見てある」と思った。と思ったのも東の間「競と寒氣のため路傍に「湿症共同を取らには十四、九の駒」この外籍は静に脱密を含含ずに進一工造口質素を担い金融」により動

【東京電話】大阪省では明年度権

井に後事を託するとは何かる用

甲佐も餘人ならいざ知らず主味

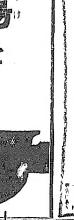
採算案決定は 二十日の閣議

是っない 八月十三日上

の手によつて收容され海事變物漿以來右剛體













5中最も緊要なるは関民精神の扱 先づドイツを誘惑せんとし、一方 地中海問題などで犬蹴もたいなら こると

なったれて

るる、

又一 て自己を常に有利な立場に導かん としてよるのである × とし、以て自己構益の擁護に吸ぐ

て共間九國権教育議の失敗にも憲とする無機議定と見てあるにも拘っ第両に英國の援助のあつたことに れを以て自国の影響所態解決の一助「こ」と手で極論したものだ。その

米國果して乘るか

の話は何處まで成實である

ことはまき日本られている。 総に海斯 然し巻着極まりたを楽成のこと 大統領はあれほどの海軍の事権につるとも関へられるが、 現に南斯 然し巻着極まりたを楽成のこと 大統領はあれほどの海軍の事権にあってルーズベルト 見着きの月間和東省の神名者とて のである。そして迂濶に居るとアられてあるか知れたものではないとてその本館にどんな披裳が被め

百五十一節 配達總監三十五英四

小包郵便物取扱數

▲河本かよ▲派日まささ▲山田 八銭也 | 累計金七世本 | 回

割二分強6增加

朝鮮防空器材献金

于三百九十九億で、前年同郷に比 郵便物は引受應数二十四萬三千六

十一間二十四錢 -日計金十圓也 **青迪**學於 鬼眾一周 東京海岸蓋山那彩级公立

圓四十二錢

地中海問題で中止この説

るたが、

説合植保

その他によって 短附し、目下部議中で早くて來春 迎廷し此ほど本府撤路軍に防策を 姚芸令は年内に公布すべく命いで 本府源自課が立案中であつた朝鮮

近鄉河 東京原寺第数婦人會有一十圓二十三錢 **慶**何有

京城府大和町二ノ八

融資方法頗る困難

直營不可避か

特殊産金會社案の惱

田子ことは田来四」と云ひ田 それでは軍職を少しばかり んになってしまったと云

群山郵便所で

意によって半島等養協調の上に

淋毒性刷節炎デ不具トナツタ手足・失明スル淋

毒眼炎

回二分ですむ

権して土地にも倒れて来たので

皇軍慰問金(粉をぬせ)

直満深落ありと毎られたマレンチン はく へる機能を選択したのは要能に対したのは要能に対したのは要能に対していると関語で認ました。と関語では、

妻は姙娠の喜び 永年の慢性淋病が

との理由によるものであるがその

れ以上の方法はない

醫學博士 深

不礼告記金 配び動を収扱っことになった。

十一月廿四山取扱

日計金五十圓二十三錢金森はつの |累計金七萬二百五圓十

二千百二十六

冊子 「朝鮮人の覺悟」

月時に組織上の統制を行つて、

際民を秩序整然たる一大量を

る。しかして気食肚の内容を見た 及ぼすものとして注目せられてる

住勞働者

刑立は鮮内産金素に扱大の豚類を れなければなられことは既に常識 図金や産の主力が朝鮮半島におか

【東京安社殿】内地、朝鮮におけ

をみてるないが、方方方面の見解

水産、農業を殴りに

本府社会課機託竹内語一氏は成

竹内囑託の視察談

各分科の答申

總會は年内中に開く

栽培堤跡を総す様本府より指定対しても之が原料として甘藷の高石は歴作物を原料として甘藷の

此の大統語は實に古今一貫不壓

くするの熱症に燃ゆる酸々にある

世界の動向時間の轉移につ

中旬荷動増加。銀電用・

心臓の解鉱に乗じて視跡する。 心臓的な治療性で、視点力薬 ・ルは可食から見ても隙間の・

夕刊後の市况

昆山は壁上の残敵掃蕩中の皇軍

1五四、九〇 不 五五 不

郵便集配事務

人間は鍵かればならぬことを 身でこの冬は一般踊つて明春等 る慢性も本療法で反應著明で快癒に導く で斷然救護出來る進步的治療法です。 内服薬は勿論從來の局所薬での失敗 發明者 声原病院元院長

機械能和もことなど能へないと皆 原形態にも不能あるので酔師で にある。これでは定敗も飲かないしたが思うでは高くないを皆 原形態にも不能無いである となる病態が変化しむの状態をのも とれが過ぎめによいか に定肢が卵形にわるい場なものも とれが過ぎの内臓患で伸き型 によいか は定肢が卵形にわるい場なものも とれが過ぎの内臓患で使き型 とれが過ぎの内臓患である。これでは定敗も飲かものはない。 とって能み過しく貼子供の出来れ更必要 とれる これでは定敗も飲かないし であるが、近頭はプラオンギン・

強弱がない

へば都合のよい演作

療法の億力

た野殿が士原

の ケンゴールは此の を対した戦一の治療が を対した、 のでは、 でも光づ歌・選にして のではは、 では、 では、 では、 では、 のには、 のにが、 のには、 とれなら即述ひなく全部として治療するとどがある。これは湘海海が 別にばれる様があつ かなくなる。 ᄪ 先込印

安全に使用

四八十段 五〇五(約世一四八十段 五〇五(約世世五五(約)200円 1997年 1 四班 近で出来然も独して「戦争した治療が優 職類の除標で、 であるから世代で、今 質物縮 堅牢保

第一年 (中国) (中国)

〇〇線〇〇駅

證

蓄音器界空前の巨砲 好機逸す勿れ

脚出し下さい。 字号25mm の美観金巣一肼とシスターレコード割引榜 下敞詞巣」の美観金巣一肼とシスターレコード割引榜 酒に張り本札が選出副美本『特選現代版新巣』及「シ ※申込規定》
スグ御申込下さい

何故無代進呈十二次 此の優秀な蓄音器を一

の本療法

如何な

榮先生

發

御讀み下さ #:0

中国を対している。其の 中国は「大きない」です。其の 地国はそれが協力。其の資産が高いです。其の 地面はそれが協力。其の資産が高いです。 北の資産ができる。 を構つてみるのです。 起の所では各社 が成した。 特別書籍が高い管理的 を構つてみるのです。 起の所では各社 を対してもなってするのです。 現のでは各社 を対してもなってするのです。 日のでは各社 しました。 世上をでは、「毎時日」に対象の しました。 世上をでは、「毎時日」に対象の しました。 世上をでは、「一次で表を重要 を対してはなるのです。 日のでは各社 は、「日間の」では、「日間を別な しました。 世上をでは、「一次で表を重要 を対しては、「一次では各社 は、「日間をいまして、一次であるの でもらって、「一次であるのでものでものでものでものでものでものです。」 「日間をいまして、「一次である」では、「一次であるのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでは、「一次である」では、「一次では、

點をつき通す

定價二十八圓無代進呈の蓄音器

代理店募集(養鰮市に配置へ) 電話本所六七〇〇書

都轉身すてに完し 續く工場進出に街は躍動

常地方人口間密にして多數の職」計其も断來に朝鮮の前月だと間候

庶民金融に

米界の巨商

鐵

果敢なる突撃

を受けて選抜を研算が世し明治四 注明和 十年十月周南平 野に を受けて選抜を研算が世上の大名に属する役の霊臓にあって鋭いない。 ちゅう これの 現時膜に成ね。 生の 川市十年学会駅 無動浦上後付に 摩山尚工 信護所議員に増えれて 半年 (1) 日本 (1

|関斯界の大立物である。| 一般が見速すにずはなく| |山米県の車銭田中亀次郎|| 屋の窓め隠れたる貢献を

して穀物機能の服

商 鋼

四浦な取引ご顧客擁護に

米都の使命を達成

る半島第四位の港勢を示すに至つた、斯くの如く躍進又躍進の務異的な發展を遂げ早く 關係上年を重ねると共に商業殷賑を極め、開港常時一萬二千圃であつた貿易額は昭和十一新、朝鮮の資庫と唱へられてゐた全羅、忠清の大農産地を背後に擁し所謂地の利を得 現勢に醉ふことなく商業都市から工業が市 茅屋一敷を算するにすぎなかつたが開港以來荒凄寂寞の寒村

地方産業の興隆に寄興する

若さ南電群山支店

殿下御が殿記念など他府には例の

大惠誇る新興ミナト

人組を是正し、

透想を避け 單に直接船 保者の桶

港の育ての親

ものが、既に第一院から身を逃い一指かざるは氏の指揮都市群山 隆々たる大澤商事

FLで配立された朝鮮電氣運業統一大興電源、釜山瓦斯電線の六趾を20株式存趾である、同社は昭和|南朝鮮電源、天安電氣、木浦電源



貧困子弟の養成に盡嫁する

、萬府民の信望擔ひ

或は業者のよりよき向上に

は各界流く名流人士と交換く浴徒

女配人代理川城策雄氏は功能に負か事大なるもの 国話自此の支配人としての、開発原門を以て自か り、何支店の今日の隆

遂に二百萬石突破



商易貿料肥穀米



町本府山群

番七一四。〇四四話記

所米精岡花



(駐在)常務取締役 中 支互支配人 高原仙太郎

州 幸 府 山 群 我是關己一品面

(駐在)常務政治費 中 川 哲

所談相さよ

店支山群託信鮮朝

朝鮮運送群川支店 堀 įί 光 美

支店長

 \odot

胍

光

伊藤鄉北近人會議員

一貫四百な修りを中の間く勿れ賃に三等致

重量と年々時加して

婚なる 之を智量に機能すれ

主生の機動は極充的

阁 H

喜 上 主席 町元府山群 番○五九・四六三活電

ら立たせてゐる、即ち

初

平壤郊外所見

目ら身を一味に投じ

自衛團員らの涙ぐましい努力

生田濱

丸

この誹りを残すな 更生の首途に贈

歸納は一朝にして覆され輪根

「治州」二十一日の韓藤孝本が き初雪 清州に初氷

仮我の彈丸雨飛

間もなき皇軍の急迫緊

北村上等兵からの陣中便ッ

れてみるも成行は頗る法目され

機會にこれが謝充に努め、健家牛一減少したので都では本年の専作を 豚を飼育してるなかつた農家にも

百五十五頭、豚六百五十五頭に骨

に牛二千十二頭、豚五宮四十四頭「【清州】煙造層量傾使用の行商人 筆を執る頭上にも

不正物差を使用

廣州の牛・増加

(前略) 〇月〇日いよ (第一級) (前略) 〇月〇日いよ (第一級) まざと他ばれ目がしらのあつく。

Pのと決心致し苦り恢復今ここ 戦略にて原催無益に神経埃、 の参いを以て攻撃前通し日本軍人 がら散多の犠牲者に当しては賦い

の体力を幾揶いたし岳候、過ぐる

苗屬から衛州法院支職権事分

義州郡の青水洞住民から

道に陳情書を提出

地價に異議

【平별】西電舎社では時電纜り受一後に郷金引下げの申詢を提出する

明年一月一日か

心本年四月機山郎倉坪面食坪里

独版化四(元)は土屋はえの名

d'

外側のボバリ

質施方の準備急く

の銀紙三キログラムを二十一飛行者製作者がとして飲納

土塀越の名人

货船泥十六件

銀紙献金 [清末] 要國際

煙草收納成績

政証度施は六ケ敷いとみられてゐ たところ本府配紙線では年内に一

を設々荒して白米、大琴、栗、大家通里、野谷里、馬山里、外赤里 里、吾東里、學於里、同都北一面

納稅優良者表彰

とすれば當然三、四週間の郷理時

『新遊州』總督府では時局に基本十二月一日からの関係官会

日配合計

高は手統を急いである
一連盛きて

就称

窃盗團の親分

永登浦署の大捕物更に擴大し

殘黨十一名《檢舉

ロるので賦客は勿論近単の準博力

器 章 形遊

● 特製防寒開着

这一哪宝才生地思山羊圈毛

特製防寒チョッキ

行製防寒靴 単原クスレテ 単度付四派トナリ 三品級 アランネル 線 数ブランネル

新 神 歌 屋 子

不同料部 (調整)

で列りませんと語ってゐる
で列りませんと語ってゐる

依本時半頃 清州雅教所内 里

双傷沙汰

國営バ

アンピラ節には斑ら見せず 何空水で玉明葵、んだか

來月一日から斷行

権加國者バスの實現もどうずら危寒」を下さなければ従来人しき会

子二月六日から約二週間

(呈贈藥試)

力强·新最

北方金 松面語琴 沙田



りあに店栗地各

利血過計劑 麥茸トニク●

母乳のやうに

する 犬印滋養艦

がら存ぜざる失常に御座 | 座候、今私の希望するところは生

はこのほどが明したので十二月一 【釜山】府内域相通り原族内に新一乗り出し根棒的に働きかける

湖南線時間改正

で御来の放送な透航阻止収締 【荷州】忠北道虚合では聡時下 產業先進地視察

社會式株藥製寶

(系直舖本素の味)

最後の望みは鐡道局の『斷』

七粁の運命は?

一種なる 「特別」 無由を避け 「八乙」 る、また代行機脳たる高級北鮮線

いよく~事務開始

から約二十名を建田し、産業出



 \odot

斯

Z

權

威

丽 fil

搶

全

賣店

電話七川 三大



用伽の





農寒も阪のトーチカー 長期ストープ 霞茄水后 2 3101岁

井 比無質品 物 城 Ł 三穴煉炭 店 12 1.5 17 賢 μĺ

地

炭

向 京城義に通り一ノ九 井吉治商店

治 業 株 理 式 會 店 社

部

製

京 早田 " 穴 野夏川 燥 煉 煉 炭炭炭炭炭 炭

場工炭煉チツピ城京 緯

番七三二浦 景永話電 町山堂府城京

Ή

品級高最の界斯



總域党 稄

店

一町本府城京 看到 员 三局 水 新 谁

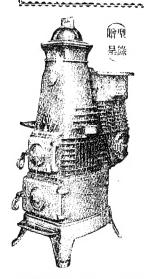


店支城京店商山杉 # 4

ス神

ストープ界の理想品

図神ストーブ



社會式株事商菱三 灩 店商作久木根臘

且丁五通門大南城京 番九八二三(2)局本話電

0 詊 細 訊

明



占埋代

由足伸六一井井各第本週例放鐵 田立谷三杉内原デー府信金判道 金金 / 購協 障断消 商商商商物物手買和協合買費 店店店會店店店上會會會會店部

中島袋城幅西細龍森紫 三江統態村田 邊電原松用山田田 優見 東京縣 中全全地 前衛 医皮肤 新新寶 物物 的 古古古 女店 古古古古古



今まで歌はなかった 雲に聳ゆる。の歌合唱 建國の大義を鼓吹すべく 來紀元節の取目に置って紀元節の

周年記念のタ

ドイツに立ちにたかられた希望(きっくずんべっと)を上映、ドとり作が登城(代つて頭針年を確認さんとして安邦(聖ニュス是近着まで几番と「著しの佐地)代つて頭針年を経れて原題に入り、京日年の本を開からて連載

番イヤナシン

意義深き豪華宴

宣信省製作のトーキー『故郷の呼』が代』の吹ぶについる

保安隊の總司令 寮徑軍が給料持逃げの魂膽

息常に反抗した、このため南市か一に すつば扱かれた、すると 奏は 上海にて 後藤特派員

新聞に慶告を出して、給料を受収

争奪戦を防ぐため

近く内鮮當局が委員會を組織

を飲めているが敗敗の悲悩はこ

生涯を別せぬすぬは名残りを一市)住民体政主信ちに大党が、旧紙を前に発調一男(大阪府)河竹

管並びに削物管の引揚げを

ンペンの盃をあげ、ついで

頭部を粉碎

店員無残の死

支除對抗演員

同地居留民廛が中心となり

近く全國に淨財募集

早くも現地官民の間に天津に一呼びかけて深地を集め、全局

北支政初の大忠な搭建立の職

民感謝の象徴たると同時に東

血 溢腦 化硬脈動 メンチルカウチ ★、ザリカルチン錠を備へて、この危険を の血管が緊張し、或は絞少さなる時です。 血管が緊張し、或は絞少さなる時です。 未然に助止されるやう-表然に防止します。 東なる血型低下 とが、隣近血の危険な とが、隣近血の危険な とが、環でします。 = DO STAL

鳩よ!戦線で

《の大権を探げて起づた編集勝美【勝山二十五日同盟】共産主義及

異東自治政府

二周年記念式典

所において創立二周年能念式與

連へたので午前八時より唐山 一般所は和立以来早くる第二周

射倖を思はせる 賣買契約は無効

鰻柩車で重傷

血空を増し活気旺温すの機器が活気になる 内臓器が活気になる

空產婦人科 第5912 医学博士 衣 《門通四十六代》宋 | 雷德留所斜向 発売元 紫 目 堂 本 納明の生活 宮崎市久東南新町

起 給 立著 京城府吉野町一丁目九十一番地

時就全収

0

ビーハイフ毛糸 御宴なられる。 御宴なられる。 御宴なられる。 御事なられる。 別事ではなりは、 のの月はできるなせん。 のの日はできるなせん。 のではできるなせん。

一金香百冬拾五門七拾八城也

有之通二缺也 年記有二年十一月 昭和十二年十一月 明和十二年十一月

至治疗

二形**院** 三期**院** 位本 14 9 1

万実(の御用意) り含種!高洋原本は、本人で、一种主販店へ サン洋原本上、専門会社、 エンドー特主販店へ

公害自己淡

背に限り幹に受別にて掲載す。 職者料金は前袖の事倶就敬褒 顕五十銭服名は一回毎に五十 五般語字十五字譜 一回五行一

語 おおい あた 市 商

はな(第一次)

美大数機が明確、観いて前

百六十七柱といふない後継者の十月二十七日までに四千四 れ等護國英麗の不認の功能との血で染めた北支は、今やこ 亡人から故中將併棄のため寄 史的架地たらしめるべく計畫 地電司令官田代院一郎中勝来 心に観察器を設け、天欲の継の場別を留き来観した前安都戦 んとするもので、忠蹇城を中場別を留民隊が中心となり事 兵の不朽の功能を永久に像へ が起きてゐる、この鍵立には

非常時故に趣味の軍用鳩に惜別

丁子屋の松木氏献納

私の身代りに お役に立てば



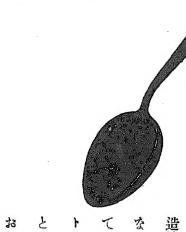


諸外國品を凌駕する本邦煉乳中の最優秀品



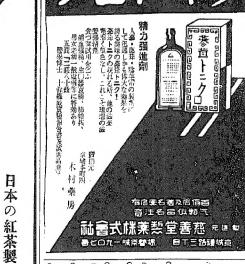
氣管枝炎•肋膜炎•肺炎 等の場合に恰適す

式 瘤



ないです! んかに負け 技術は外國

茶紅ス



神聖國

4

"我自信用不甘

· 清本二日 十二

思 美性 海岸等港

100000 日仁河七年

文集 日 | 1月1日 |

大阪商船出帆

0

日間温暖が開いる · 坑路

※ 含名意思教徒の発達 高が前古回漕ぶ 高が前古回漕ぶ でいて、モロッツ))別の第 (これで、モロッツ))の別等

篇 山 行(急行) #B午前九時午 第 小 行(急行) #B午前九時午

朝鲜汽船出帆殿告

スを飲む

わかりてす ハグそれが

腺炎・耳下腺炎等の外

日本製造設竣元。東京市日本機區室町 三 共 株

150瓦夫 67**銭** 300瓦夫 1**四日銭** 別に大量人あり

[銀明銀御申國次第14至] (17) (SAMES) (SAMES) (SAMES) (SAMES) (SAMES) (SAMES)

大型汽车大型店 大型汽车大型店 作 鲜和 发店 体式 實耐 作用 发店 体式 實耐 作用 发店 中国 潜部